



循環型社会に向けたIBMの活動

IBM 環境シンポジウム

平成15年10月22日
日本アイ・ピー・エム株式会社
環境部長 小林光男





日本IBMグループ 新世紀ビジョン **VISIONe**

2000年4月発表

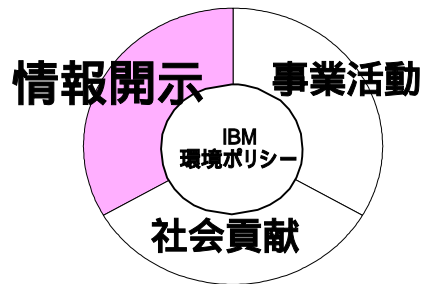
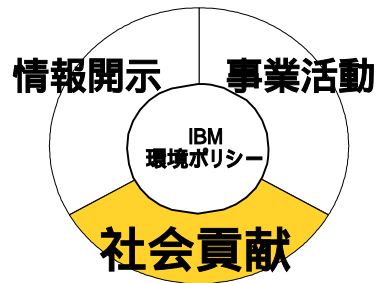
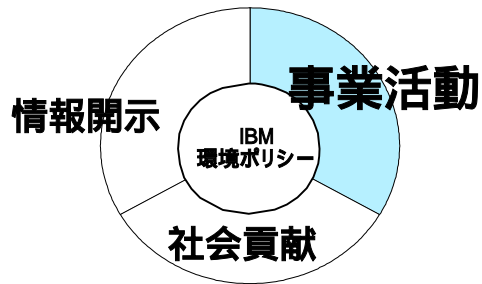
ネットワーク社会をリードし、
新しい価値の創造を通じて、
人と地球に豊かさと潤いをもたらす、
熱意あふれるプロフェッショナル集団

お客様中心
グローバルイノベーション
機敏さと活力

IBM



IBM環境ポリシー (#139)



- 職場の安全衛生の確保
- 地域の環境保護に責任ある対応
- 資源の節約と再利用
- 環境に配慮した製品の開発・提供
- 環境に配慮した開発・製造工程
- エネルギーの責任ある使用

循環型社会の
構築指針

- 地球環境保護活動への参画と技術貢献
- 地球問題解決の支援のためのIBMの製品、技術、サービスの活用

- 独自の厳しい基準値、継続的改善、環境情報開示
- 環境プログレス・レポートの定期的な発行
- 厳格な環境監査と取締役会への報告

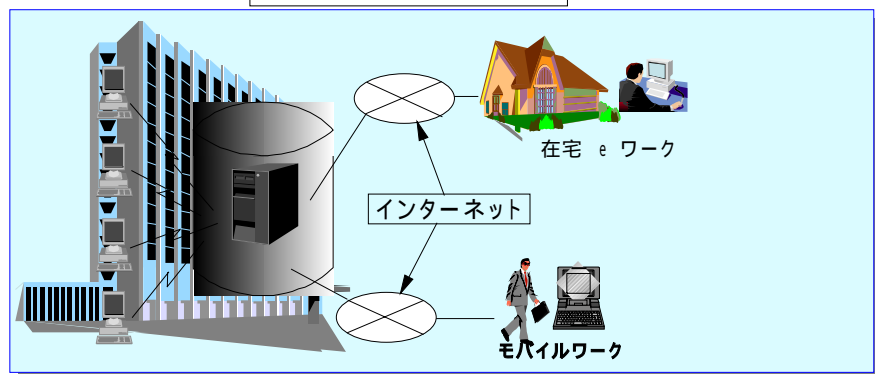


IBMが貢献するIT社会と環境

IT化による

- 産官学の情報開示
- 環境負荷の低減
- 情報の地域格差の撤廃

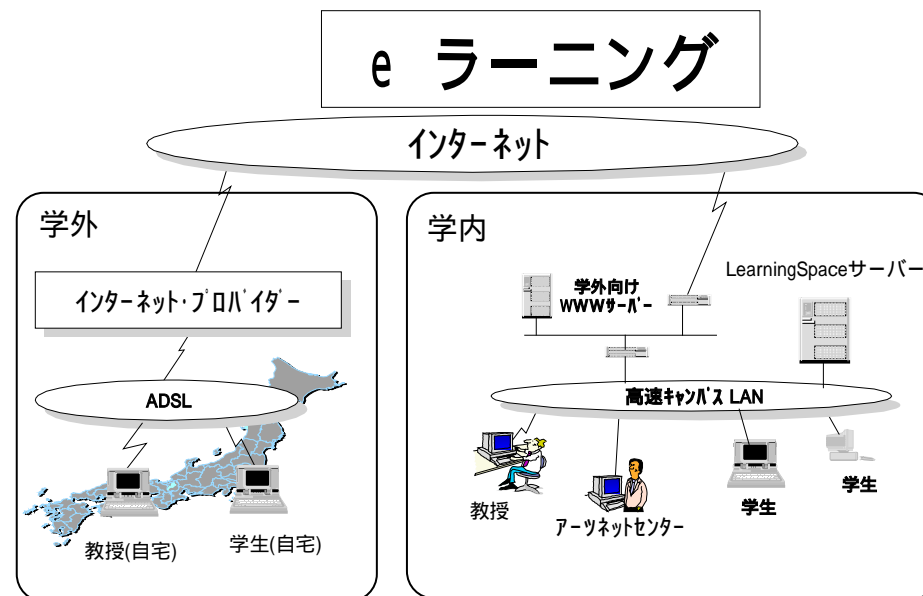
e ワーク



e セミナー



e ラーニング





循環型社会構築

(EPR: Extended Producer Responsibility)

(動脈産業)

開発

生産

使用

20世紀の企業 環境責任

- ・省エネ/省資源製品
- ・消費者に金銭的メリット

(静脈産業)

Reduce

Reuse

Recycle

21世紀の企業 環境責任

- ・リサイクル率向上/解体容易性
- ・消費者に金銭的メリットない

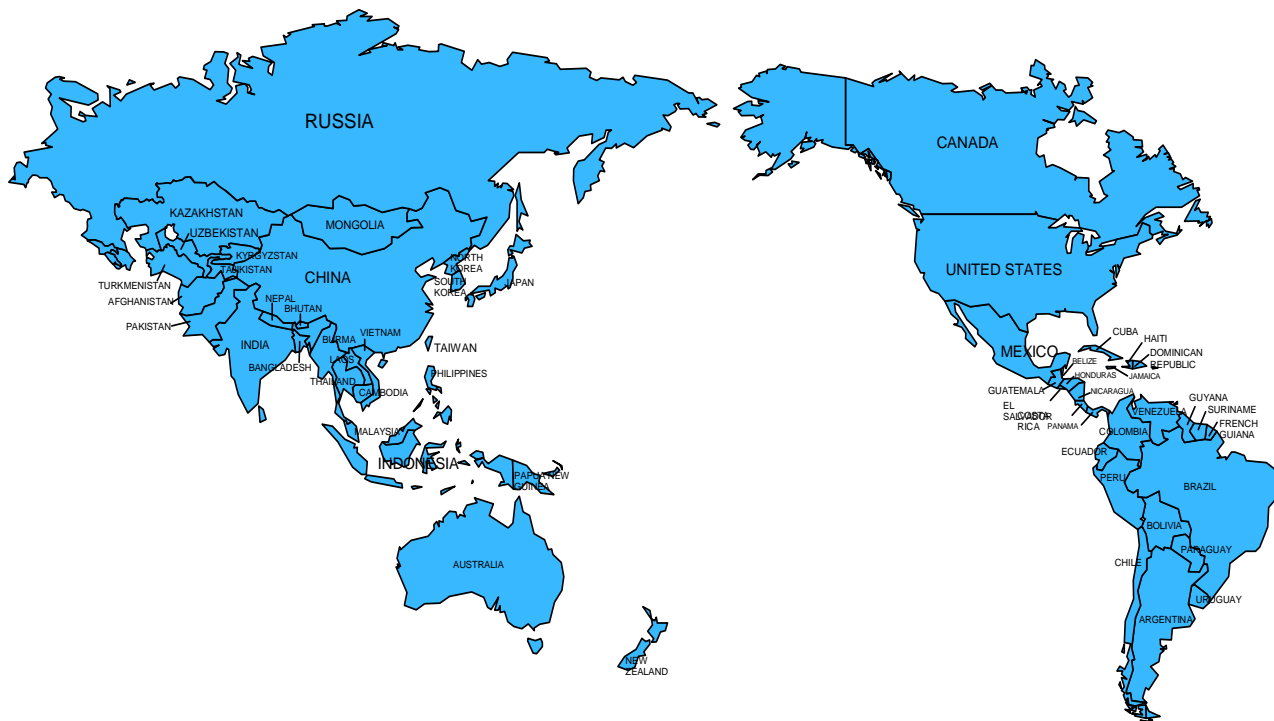


拡大生産者責任 (EPR)



IBMの拡大生産者責任への対応

-Think Globally Act Locally-



Reduce

世界共通の基準での開発重視

Reuse

工場 国内全拠点 全世界、
「ニーズ」の拡大・充実

Recycle

世界共通の基準での製品回収・
リサイクル

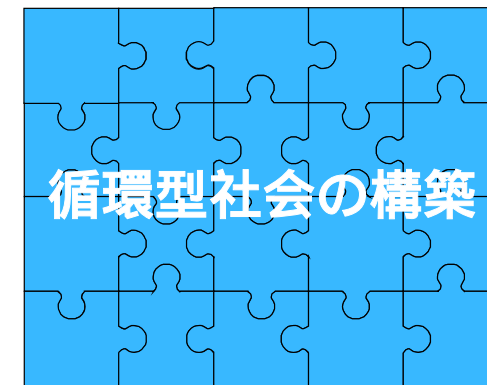
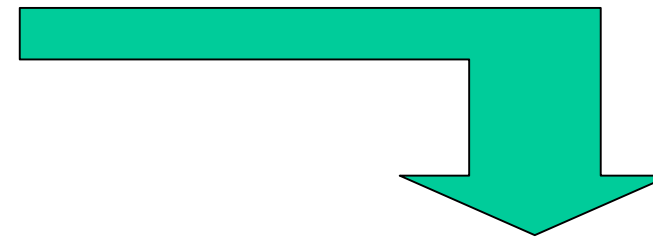
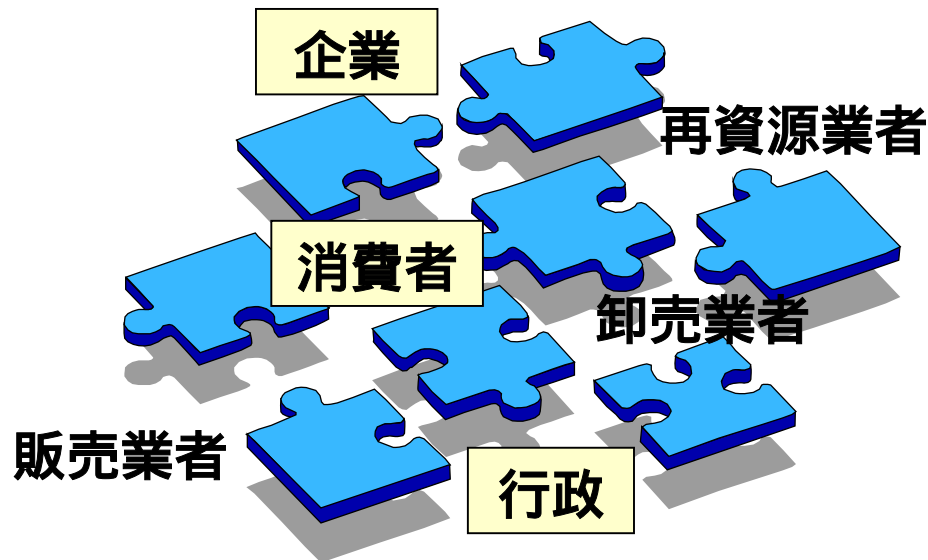




循環型社会への取り組み

企業、行政、消費者の責任、役割を明確化

さらに行動に移す。



最適な
仕組み作り

企業、行政・学界、市民
三位一体の活動



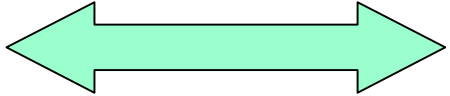
地域社会活性化とIBMシンポジウム

特質を生かした協業



新しい事業の創設

全世界



グローバル展開

全国

